

利用規定及び施設利用における合意事項

利用規定

1. 施設利用について

- ・施設内は禁煙です。喫煙は施設外でお願い致します。
- ・タバコの吸い殻は投げ捨てたり放置したりせず、各自で適切に処理してください。※灰皿はありません。
- ・酒気を帯びた方のご利用、及び施設内での飲酒はお断り致します。
- ・ゴミ箱は設置しておりません。ゴミは各自お持ち帰りください。
- ・着替えは更衣室及び着替えスペースをご利用ください。※クライミングエリアでの着替えはしないでください。
- ・貴重品及び荷物等の管理はご自身でお願い致します。※盗難、紛失の責任は負いかねます。
- ・男子トイレ及び受付のある部屋へはクライミングシューズを履いたまま入らないでください。
- ・駐車場内における事故やトラブルに関しては一切の責任を負いません。
- ・ご利用は小学生以上とさせていただきます。
※小学1～4年生は「親子パック」でのみ利用可。
- ・中学生以下のご利用には保護者又は引率者の同伴が必要です。
- ・高校生以下のご利用には保護者の同意が必要です。
- ・お子様連の方は、お子様が他のおお客様の迷惑となる行動、事故のないよう監視してください。
例：施設内を走り回る。他者との衝突の可能性のある場所に座り込む等。
- ・ご利用時間の長短にかかわらず、入場後の返金は致しかねます。
- ・施設利用における怪我、事故についての保険はありません。
※本人及び保護者の責任で処理をしてください。

2. クライミングエリア内について

- ・登り始める前に周囲を確認してから壁に取付いてください。※先に登っている人が優先です。
- ・登っていない時は壁から離れて待機してください。
- ・他の利用者の邪魔になるような場所に座って待機しないようにしてください。
- ・マットの上で寝転がって休憩しないでください。
- ・マットの上や施設内を走り回らないでください。
- ・グループでご利用の場合、ひとつの壁や課題を占拠するようなことのないよう、他の利用者の方と譲り合って登ってください。
- ・ホールドは不意に回転、破損することがあります。
※回転した、動いている、または破損したホールドを見つけた場合はスタッフにお知らせください。
- ・粉状のチョークのご利用は床置きタイプのチョークバッグでのみ可能です。
※腰付けタイプのチョークバッグでの粉状チョーク(ブロックチョークを含む)のご利用は禁止です。
※出来るだけチョークボールや液体チョークをご利用ください。
- ・お子様が登る時は常に側にいて注意してください。
- ・保護者の方が登っているときは、お子様を安全な場所で待機させてください。
- ・基本的にクライミングをされないお子様はクライミングエリアには入れません。
- ・クライミングをされない方はマットの上に上がらないでください。

・その他

利用規定及び施設利用における合意事項を守っていただけない等、他のおお客様のご迷惑、危険となると判断した場合、施設のご利用をお断りします。

施設利用における合意事項

当施設はスポーツとしてのボルダリングを提供する施設です。ショッピングモールや公園等にある遊具としてのボルダリングとは、ルールや遊び方、マナーが全然違います。

遊具としてのボルダリングは「落ちない前提」で登っています。しかし、スポーツとしてのボルダリングは当然のように落ちます。なぜなら、登れない課題を登れるようになるために登っているからです。

そんな中

マットの上を不用意に移動したり安全確認を怠ると、接触事故の可能性が非常に大きくなります。事故にならなくても、ルールを守らない人が同じ空間にいただけで、「ひょっとしたら突然、自分の下に人が入って来るかも？」と思うと、思い切り登ることが出来なくなります。

当施設のルールは、ご利用される全ての方に楽しんでいただくために作られているルールです。必ず守っていただくようお願い致します。

・小学生以下のご利用について

小学生以下のご利用は全て保護者の管理のもとご利用いただきます。初回ご利用時の説明は保護者の方も一緒に聞いていただきます。

保護者はお子様ルールを守って登れているか、常に確認していただくようお願い致します。

・ボルダリングについて

ボルダリングとは、比較的低く、飛び降りられる範囲（一般的に1~5m）で、ロープを使わずに行うフリークライミングです。

当施設には約4mの壁を設置し、着地するために厚さ約25cmのマットを敷いてありますが、これは着地の衝撃を和らげるためのものであり、全ての墜落に対応しているわけではなく、安全が確保されているものではありません。

着地の体勢によっては捻挫、打撲、骨折、死亡といった事故に繋がる可能性があります。

着地の際には、必ず下に人がいないことを確認し、安全な体勢で着地するようにして下さい。

墜落の際に他の利用者と衝突する危険性がありますし、登っている時に他の利用者と接触する可能性もあります。

登っている時や着地の際には必ず下に人がいないか確認し、接触が考えられる場合には声を掛ける、登ることを中断する等、利用者同士が譲り合って事故を避けるよう努めて下さい。

また、登っている人（以下クライマー）は登ることに集中して周囲の状況に気付かないことがありますので、

クライマーの下に立つことや、通行することは墜落の際、衝突事故に繋がりに非常に危険です。

クライマーの下に立つことや、通行はしないでください。

クライミングエリアに入ったら、常に周りの壁とクライマーを観察し、クライマーが落下してくる位置を予測して衝突しない位置で待機してください。

・自己責任のスポーツ

クライミングは死亡も含め事故に繋がる危険を伴うスポーツです。年齢、性別は関係ないことはもとより、初心者、エキスパート、どのような方にも等しく危険はあります。そのことを理解した上で、自分の身は自分で守るということを前提にクライミングをしなければなりません。

また、自分の行動により他者にけがをさせる可能性もあります。

クライミングは自己責任の上に成り立っているスポーツであることを理解してください。